

2019年度 佐野ケーブルテレビ株式会社 放送番組審議会概要書

1. 開催日時 2020年2月13日(木) 14:00~15:40

2. 開催場所 佐野ケーブルテレビ株式会社 別棟

3. 出席者 放送番組審議会委員

■出席者(敬称略)5名

矢島 堅司 委員(佐野商工会議所最高顧問)

野城 良弘 委員(元 佐野市副市長)

國分 三郎 委員(佐野日本大学短期大学名誉教授)

永倉 文子 委員(NPO 法人 CoCoA 理事長)

関塚 保雄 委員(元 葛生ライオンズクラブ会長)

佐野ケーブルテレビ株式会社

■出席者(敬称略)7名

成瀬 正彦(代表取締役社長)

小野 敏雄(専務取締役)

川島 剛(執行役員 営業部長)

田所 明子(執行役員 業務部長)

岡村 慈恵(業務部主任 制作担当)

茂木 章久(業務部 制作担当)

中村 三四朗(業務部 制作担当)

4. 報告事項

(1) 加入状況と今後の取り組みに関する報告

(2) 「佐野ちゃんねる」の番組編成に関する報告と今後の取り組みに関する報告

5. 番組に対してのご意見・ご感想

●「デ・ニーロタイム」抜粋

【質問・回答】

(委員) この番組はコンセプトをしっかりとやっていただくと面白いと思う。
もっと地元や地域の人を出して欲しい。

(委員) 外部から来る人に移住につながるような仕掛けがあったほうがいい。

(SCTV) 市の担当者と相談し内容を検討する。

(委員) 番組の放送時間がもっと分かりやすくなるといい。

(SCTV) ガイド誌を見やすいように改良していく。「佐野ちゃんねる」内でどの番組がいつから放送されるというのが分かるように工夫していく。

●「台風 19 号関連」まとめ

【質問・回答】

- (委 員) 台風被害をケーブルテレビでやっているということを知らなかった。改めてこういう時は、ケーブルテレビを見れば良いと思った。外部からの情報収集は非常に難しかった中で、ケーブルテレビが紙媒体でも情報を出したという説明を聞き、こういった方法も必要だろうと感じた。
- (S C T V) 今回の台風取材の中で、日ごろから情報収集はしておかなければならないと再確認した。
- (委 員) 地元のきめ細やかな情報はやっぱりケーブルテレビが一番だが、まだまだ市民に定着していないのではないかと何かあった時に正しい情報を提供するのがケーブルテレビの役割では？そういう対応や体制を研究しておいたほうが良いと感じた。
- (委 員) 災害情報は YouTube から集めている方が多かった。「情報があったら寄せてください」というような方法もケーブルテレビとして必要では？ケーブルテレビも視聴者から情報を収集し、佐野市とやり取りをしながら情報をまとめていくというのにも必要と感じた。
- (S C T V) 自分たちが動けない場合、お客様からの情報をどうやって放送に乗せるか？スマホで撮影した映像を送ってもらい放送に出す。そのシステムを早い段階で「佐野ちゃんねる」に組み込みたい。またワイヤレスで現地の映像をリアルに飛ばせる高性能な機器も近々導入する予定。今後の放送に活かしていきたい。
- (S C T V) 視聴者の立場になって色々な情報を送り、ケーブルテレビの 11 チャンネルを回せば市内の色んな情報が分かるというように定着をさせる。地元のメディアとしてきめ細やかな情報を発信できるのは私たちしかできない仕事だと思っている。今回の経験を踏まえ市民にひとつでも多くの情報を伝えられるよう精進する。
- (委 員) 映像の中で日にちだけ入っていたが、すぐ風化しますので何年何月を入れておいたほうが良い。
- (S C T V) すぐにでも対応する。
- (委 員) 毎年同じイベントを取材していると「さのニュース」の内容に変化がないので切り口を変えたほうが良い。
- (S C T V) 台風の放送をきっかけに視聴者も徐々に増えてきていると感じている。これを機に内容を工夫し見ていただけるよう頑張らなくてはいけない。
- (委 員) アーカイブは数十年前のイベントを同時期に放送しているが、少し早めに放送しては？
- (S C T V) すぐにでも取り組む。ひと月前に放送する。